



デジタル社会への対応

～「デジタル」と「リアル」の組合せ～

県立生涯学習推進センター事業は5月より本格的にスタートしましたが、1回目の研修講座はオンラインでの開催としました。施設内にあるスタジオを有効活用し、カメラやミキサーなど様々な情報機器を駆使して効果的なオンライン研修を行うための準備を連日行いました。



また、一昨年度より参集しての研修と同時にライブ配信を行うハイブリット型の事業も実施しています。

デジタル社会への変化は、今後、益々進んでいくことが想定され、ICT活用による学習機会の提供が求められています。

文部科学省が推進している「GIGAスクール構想」により、1人1台端末と通信ネットワークの整備が加速し、県内各学校でも児童生徒のICT機器を活用した学習が進められています。

当センターでもICTの効果的な活用を行う手立てを講じています。ライブ配信に伴う専用のWebページを作成し、簡単に動画を視聴できるシステムや視聴後にアンケートの回答が容易にできるなど、様々な技術を活用して、学習情報や学習機会の提供を行っています。

なお、ICT活用の課題として、利用できる方とできない方の格差の解消があります。当研修事業では、今年度「ICTスキルアップ研修講座」を複数回実施いたします。専門的な研修を行うことで情報機器の活用及び充実が図られることを目指しています。さらに、各市町村担当者や各団体職員等の要望に応え、ICT機器の活用や整備に係る具体的な支援を進めています。

様々な学びの在り方を進めるとともに、社会教育関係職員や関係団体等の要請に応じ、丁寧な説明や直接出向いて支援を行うなど、ICT機器の活用についても充実を図っています。

ここで、調査研究事業、「社会教育におけるICT活用のあり方」に関する研究で、昨年度、県内各市町村社会教育担当部局にアンケートに協力いただきました。その回答結果より、いくつかの項目について紹介します。

【県内 33 市町村社会教育担当部局アンケート結果より】

- ・社会教育における ICT の活用は必要だと思いますか。 → 必要である (90.9%)
- ・貴市町村では今後社会教育において ICT の活用を行っていく予定はありますか。 → 今後検討 (60.6%)
- ・施設に Wi-Fi (無線 LAN) 設備はありますか。 → ない (47.7%)
- ・ICT 機器を活用した生涯学習講座等の実施状況について伺います。 → まだ実施していない (73.8%)

(調査日：令和3年9月1日現在)

アンケート結果より、ICT活用の必要性、ネットワーク環境の整備、ICT機器を活用する人材の育成など、今後に向けて取り組む方向性も見えてきました。現在、具体的な方策や特徴的な取組などを調査し研究を進めています。調査研究のまとめは令和5年2月の研究発表会で報告いたします。

人と人とのつながりや学び合い、関係機関や団体等のネットワークづくりを推進するとともに、デジタル社会への対応に向けても、ICTの効果的な活用、新たな技術開発、そして「デジタル」と「リアル」の組合せによる学びの可能性について、今後も追求していきます。



岩手県立生涯学習推進センターでは、本県生涯学習の振興に役立てることを目的として、生涯学習推進上の諸課題に関する研究を推進しています。今年度の2つの研究についてご紹介します。

社会教育におけるICT活用のあり方に関する研究

ICTの活用

令和3年～4年
2年次

近年、社会教育の現場において、パソコンやスマートフォンなど様々なICT機器を利用した活動が盛んに行われています。国の様々な政策の中でもICTの活用が提言され、全国各地でICTを活用した新たな取組が行われているところです。また、新型コロナウイルス感染症が、社会に大きな影響を与えている中、ICTなど新しい技術の活用により、新たな社会の仕組みが出来つつあるところです。

広い県土を持つ岩手県において、社会教育現場でのICTの活用は一人一人のニーズに合わせた、学びの機会を充実させる方法の一つとして、活用の可能性が示されています。

一方で、ICT機器を利用できる者と利用できない者の間に生じる格差（デジタル・ディバイド）の解消も課題となっています。特に高齢者はICT活用能力を身に付ける機会が乏しく、これからの社会で生活していくための情報を得にくくなりつつあります。

一年目の研究では、県内の社会教育施設にアンケートを行い、結果をまとめました。ネットワーク通信環境の整備の遅れと、対応できる人材の確保、ICTの活用のしかたの周知という点が課題として見えてきました。

2年目となる今年度は1年次にまとめた今後の課題等を踏まえ、人材の養成を行うこと、事例調査を行うことを通して、実践的な取り組みを進めていきます。

本研究の成果が、各市町村の社会教育におけるICT活用の実現に向けた一助となるよう研究を推進していきます。

地域づくり(地域復興・地域創造)における公民館等の役割と課題に関する研究(仮)

生涯学習施設

令和4年～5年
1年次

中央教育審議会の答申（平成30年12月）では、今後強化が求められる公民館の役割の一つとして、「地域の防災拠点としての役割」が挙げられました。東日本大震災をはじめとした自然災害の教訓を生かし、地域のつながりを基盤にして防災力をさらに高めていくことが必要になっていきます。

当センターでは、2012年に「東日本大震災津波をふまえた公民館の役割と課題に関する調査研究」をまとめました。それから10年を経て今年度と来年度の2年間で本研究に取り組み、当時の調査研究結果との比較とその検証を通して、成果を明らかにするとともに、地域づくり・防災の拠点としての公民館が今後果たすべき役割や課題を考察します。

公民館は、戦後の焦土の中から生まれ、地域づくり・人づくりの中核的機関として、館ごとの地域性・個性を活かした魅力ある活動が実践されてきました。しかし昨今は、公民館数や職員数の減少傾向が続いており、公民館の意義と役割そのものが歴史的岐路・転換点に差し掛かっていると捉えざるを得ません。

そのような現状の中、2011年の東日本大震災で多大な被害を受けた本県において、公民館等の施設は避難所としてはもちろん、被災者支援、地域復興の最前線の拠点として極めて重要な役割を担った11年間であったことと想像します。その成果を引き継ぐだけでなく、公民館等の施設が「地域の防災拠点」「人口減少時代の新しい地域づくりの拠点」としてさらに重要な役割を果たしていくために活用していただけるよう、研究を推進していきます。



研修会案内 7月~9月

5/12 (木) 実施 新任生涯学習関係職員研修講座

生涯学習・社会教育の推進に関する基本的な知識・技術を習得すること、また、生涯学習関係職員としての資質の向上を図り、日常業務への意欲を高めることを目的に研修会を開催しました。今年度最初の研修会に、県及び市町村の生涯学習・社会教育関係者、地域づくりに係わる新任職員73名が参加し、職務の基盤となる知識や考え方、業務に役立つスキル等を学びました。今年度は、Zoom会議を利用し、完全オンラインで開催しました。前半は、新妻二男岩手大学名誉教授による講義と当センター所長外館邦博の講話を行い、後半は、ブレイクアウトルームを活用して、いわて子どもの森の長崎由紀氏による「すぐにできるアイスブレイク」とオフィスrespirar代表の榎本倫子氏による「大切にしたいビジネスマナー」の2つの選択研修を行いました。



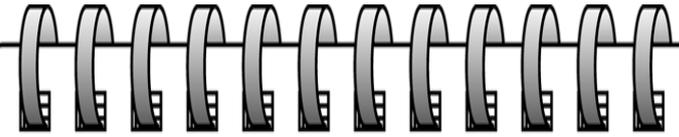
配信の風景

5/24 (火) 実施 社会教育指導員・地域づくり関係職員等研修講座



グループ演習の風景

総参加型の話し合いによる合意形成の良さやファシリテーションの手法について学ぶことを目的とし、研修講座を開催しました。社会教育や地域づくりを担当する職員等31名が受講し、講義とグループ演習を通して、話し合いによる合意形成のプロセスについて理解を深めました。昨年度に引き続き、いわて連携復興センター専任コーディネーターで、岩手大学客員准教授の船戸義和先生の講義と、グループによる実践的な演習を行いました。演習では、いわて連携復興センターの瀬川加織氏、酒井菜穂子氏、陸前高田まちづくり協働センターの黄川田美和氏の3名がグループ講師としてサポートしました。



【7月】



1日 (金)

人づくり・地域づくり関係職員等研修講座
(中部地区：るんびにい美術館)

13日 (水)

家庭教育・子育て支援活動交流研修会

20日 (水)

人づくり・地域づくり関係職員等研修講座
(宮古地区：うみマチ広場)

【8月】



9日 (火)

学校と地域の連携・協働研修会

19日 (金)

人づくり・地域づくり関係職員等研修講座
(盛岡地区：紫波町役場)

【9月】



2日 (金)

放課後子ども総合プラン

指導者合同研修会②

13日 (火)

センター・公民館・主管課職員等セミナー

16日 (金)

地域安全防災研修会

30日 (金)

子育て・家庭教育相談担当者研修会①



生涯学習情報提供システムなど、多様なメディアを活用した総合的な学習情報の提供及び学習相談の充実に努めています。

学習情報

【令和3年度】

総ページアクセス数 165,782

岩手県生涯学習情報提供システム

まなびネットいわて

<https://manabinet.pref.iwate.jp/hp/>

県内の生涯学習に関わる指導者・ボランティア情報、講座・イベント情報等を網羅。

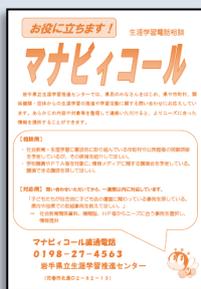
まなびネットいわて

学習相談

【令和3年度】

「マナビコール」

件数 83



生涯学習情報に関する問い合わせは

マナビコール

<直通電話>
0198-27-4563

推進センター職員が迅速・丁寧にニーズに対応します

生涯学習ボランティアセンター
講師・サポーター・ボランティア新規登録者募集中

家庭教育情報

【令和3年度】

「すこやかダイヤル」件数 391

「すこやかメール相談」件数 104

「すこやかメールマガジン」登録者数 3,627

すこやかダイヤル **0198-27-2134**

すこやかメール **kosodatem@pref.iwate.jp**

すこやかメールマガジン

kosodatem@pref.iwate.jp

「メルマガ配信希望」とメールをください。



**すこやか子育て相談「すこやかダイヤル」「すこやかメール」
子育て応援アイテム「すこやかメールマガジン」**